

## 農地貸付・借受申出書

農業経営基盤強化促進法(農用地利用権設定等促進事業)により、下記農地を貸し付け・借り受けたいので申し出します。

箕面市農業委員会会長 様

住 所 箕面市

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

電 話 (     )     -

携帯電話 (     )     -

【農地を貸したい方の場合】 .....  (※要チェック)

1. 貸し付け希望農地の所在等を下欄にご記入ください。

	所在(町名等)	地番	現況地目	面積(m <sup>2</sup> )	現況(※注)
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					

注) 現況欄には、良好・不耕作(平成 年頃～)等をご記入ください。

また、おおよその位置図を裏面にお書きください。

2. 貸し付け希望農地の周辺環境についてお教えてください。(※該当数字を○で囲んでください。)

①車での乗り付けが可能→※車道から農地までの所用時間：徒歩(     )分

②水路等、水利用の設備が整っている。

③耕うん機等、農耕車輛・機器の運び入れが比較的容易である。



【農地を借りたい方の場合】 ..... (※要チェック)

1. 借り受け希望農地の地区名等 (例 箕面地区等) をご記入ください。

地区名	耕作希望面積 (㎡)	作付予定作物等
	約	
	約	

2. 借り受け希望農地へのニーズをお教えてください。(※該当数字を○で囲んでください。)

- ①整備農地や既耕作地に限る。
- ②未整備農地や不耕作地でも構わない。
- ③その他 ( )

3. 賃借料についてお教えてください。(※該当数字を○で囲んでください。)

- ①使用貸借 (無料) でお願いしたい。
- ②貸し付け先と相談して決める。(市HPで公開している実勢賃借料が目安となります)
- ③その他 ( )

4. 利用権の設定等を受ける者又はその世帯員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地又は採草放牧地の状況 <農業経営基盤強化促進法第18条第3項第2号(イ)関係>

・所有地・使用収益権を有する土地がある場合  (※要チェック)

		農地面積 (㎡)			採草放牧地 (㎡)	
		総面積	田	畑		
所有地	自作地	①			②	
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

使用収益権を有する土地		農地面積 (㎡)			採草放牧地 (㎡)	
		総面積	田	畑		
	自作地	③			④	
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

・所有地・使用収益権を有する土地はない場合

(記載要領)

1. 「自作地」及び「貸付地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
2. 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等自らの耕作等の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

5. 利用権の設定等を受けようとする者及びその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況 <法第18条第3項第2号(イ)関係>

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			採草放牧地
作付(予定)作物					
利用権設定後の面積(m <sup>2</sup> )					

(2) 大農機具

種類		トラクター	耕うん機	田植機(自走式)	コンバイン	草刈機	
確保しているもの	所有						
	リース						
導入予定のもの	所有						
	リース						
(資金繰りについて)							

(記載要領)

1. 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。
2. 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

① 利用権の設定を受けようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況

- ・農作業歴 ( ) 年
- ・農業技術修學歷 ( ) 年  
修学機関名 ( )
- ・その他 ( )

② 世帯員等その他常時雇用している労働力(人)

現在	人 (農作業経験の状況： )
増員予定	人 (農作業経験の状況： )

③ 臨時雇用労働力(人)

現在	人 (農作業経験の状況： )
増員予定	人 (農作業経験の状況： )

④ ①～③の者の住所地、拠点となる場所等から利用権の設定を受けようとする土地までの平均距離又は時間

6. 法人の構成員等の状況 (利用権の設定を受けようとする者が農業生産法人である場合のみ記載してください) ・別紙に記載し、添付してください。

7. 利用権の設定を受けようとする者又はその世帯員等の行う耕作等の事業に必要な農作業への従事状況（利用権の設定を受けようとする者が個人である場合のみ記載してください）

＜農業経営基盤強化促進法第18条第3項第2号（ロ）関係＞

（注）「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作等の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。

（1）その行う耕作等の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名

（2）年齢

（3）主たる職業

（4）利用権の設定を受ける者との関係

（5）その者の農作業への従事状況（該当する期間を「←→」で示してください）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その行う耕作等の事業に必要な農作業の期間												
その者が農作業に常時従事する期間												

（注）「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業（耕うん、播種、施肥、刈取りなど）にいつでも従事できる状態にあることをいいます。

8. 利用権の設定を受けようとする者又はその世帯員等の利用権設定後における経営面積の状況

（1の①+③+利用権の設定を受けようとする農地の面積） = \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

9. 周辺地域との関係

利用権の設定を受けようとする者又はその世帯員等の利用権設定後における耕作等の事業が、利用権を設定しようとする農地の周辺の農地の農業上の利用に及ぼす影響を書いてください。

（例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用法の違いによる耕作の事業への支障などについて記載してください）

○利用権の設定を受けようとする者が、「農業生産法人以外の法人である場合」又は、「その者又はその世帯員等が農作業に常時従事しない場合」には、以下も記載してください。

10. 適正な利用を確保するための契約条件の状況

利用権の設定は、適正に利用していない場合に、使用貸借又は賃貸借の解除をする旨の条件その他適正な利用を確保するための条件が付された農用地利用集積計画書により行うものであることを

- ・ 確約します
- ・ 確約しません

11. 地域との役割分担の状況 <法第18条第3項第3号（イ）関係>

地域の農業における他の農業者との役割分担において、具体的にどういった場面でどういった役割分担を担う予定であるかを記載してください。

(例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、農道・水路・ため池などの共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等について記載してください)

12. その法人の業務を執行する役員のうち、その法人の行う耕作等の事業に常時従事する者の役職、氏名及びその法人の行う農業への従事状況

<法第18条第3項第3号（ロ）関係>

(1) 氏名

(2) 役職名

(3) その者の農業への従事状況

- ・ その法人が農業を行う期間（労務管理や市場開拓等含む）： 年    ヶ月
- ・ そのうち、その者が当該事業に参画・関与している期間： 年    ヶ月（直近の実績）  
年    ヶ月（見込み）

